

## 1. 研究主題および教科

# 一人ひとりの学びを保障する

～読み取る力・表現する力の育成と家庭学習の充実を通して～  
(全教科・全領域にて取り組む)

## 2. 主題設定について

本校では学校教育目標を「すべての生徒が楽しく安心して学べる学校」と定め、「輝く未来」プロジェクト、学力向上プロジェクト、「輝く笑顔」プロジェクト、開かれた学校づくりの4つを主な柱として教育活動を行ってきた。また、平成28年度から鳴門教育大学との連携事業の中で、UDの視点を取り入れた「分かる授業」づくりを推進し、外国にルーツのある生徒、学習に困難の見られる生徒への支援にも取り組んできた。

令和5年度鳴門教育大学との連携事業に係る生徒アンケートの調査結果では、「クラスでは、安心して学ぶことができる」、「クラスでは人に対する思いやりが大切にされている」の項目で、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」といった肯定的評価をした生徒が市全体の平均と比べて高く、「先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思う」、「困ったことがあれば、学校の先生に相談できる」の項目でも、肯定的評価が高い結果となった。このことから、本校には安心して学べる環境があり、教師と生徒が良好な信頼関係を築けていることがうかがえる。さらに教師アンケートの調査結果では、「この学校の先生は、先生同士が互いに信頼し合っている」という項目の肯定的評価が、昨年度に引き続き市全体の平均を上回っており、本校職員の同僚性の高さを示す結果となった。

しかしながら、令和5年度全国学力学習状況調査の結果は国語、数学の2教科で全国平均を下回っており、C層・D層の割合も全国平均より高い。各教科の解答結果をもとに本校の弱みを分析すると、「問題文を読み取り、問われていることや要点・概要を捉える力」、「根拠を明確にして自分の意見を表現する力」が弱いことが分かった。また、生徒質問紙調査の結果から、1時間以上家庭学習を行っている生徒の割合が、全国平均を大きく下回っている。以上のことを踏まえて、本校の強みを保ちながら、課題を克服するために取り組むべきことは、

- (1) 安心して学べる環境の中で「読み取る力」、「表現する力」を育成するための取組を行うこと
- (2) 学んだ内容を定着させるための家庭学習を充実させること

の2点にまとめられる。

(1) では、平成28年度から継続して取り組んできた、ユニバーサルデザインの視点での授業づくりを大切にしながら、課題や問題を正確に読み取り理解する力を育成する授業を目指したい。そのために、ICT機器(1人1台端末)を効果的に活用した学習内容にするための教材研究、定期的な教科部会での情報共有などを推進する。また市内共通取組である「授業力UP5★」、「よむYOMUワークシート」等を用いて、学んだ事柄を振り返る活動や、自らの意見を表現する活動を積極的に取り入れたい。

(2) では、(1)の取組と並行して、教科部会を中心に効果的な家庭学習の課題を設定していきたい。またICT教育担当との連携を密にとることで、家庭での端末活用も進めていく。さらに、定期テスト前の補充学習、長期休業中の補充学習も活用し、特に困り感のある生徒に対してきめ細かなサポートを行うとともに、保護者と連携しながら学習の定着を図りたい。

### 3. 取り組みの概要

#### (1) 研修推進グループ

- ① 公開授業…年間2回（6月・11月）午後に公開授業研究会を開催
  - ・鈴鹿市教育委員会より指導主事を招聘し、研究主題に基づいた視点で助言・指導を仰ぐ
- ② 校内プチ公開授業…年間1回以上（各教科で人数と時期を設定）
  - ・教科部会の時間を用いて、担当者が授業を公開する
- ③ 授業公開週間…年間2回（5月・10月）開催
  - ・参観者は「参観シート」を用いて授業を見学し、授業者は「参観シート」で授業内容を振り返る
- ④ 校内研修会の運営
  - ・研修部会で日程・開催方法を協議し、各分掌部会とも連携を取りながら運営する

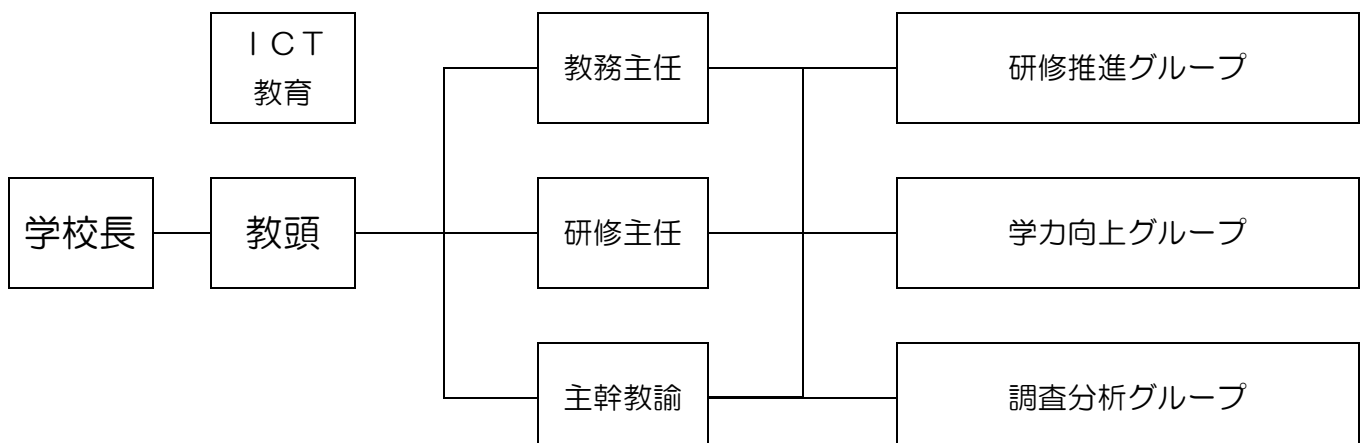
#### (2) 学力向上グループ

- ① 家庭学習の充実
  - ・学年、教科で家庭学習を充実する取組を推進し、学力の定着を図る
- ② 授業改善、授業実践の推進と共有
  - ・「読み取る力」、「表現する力」を育成する授業を校内で推進し、好事例を各職員に共有する
- ③ 教科部会の運営…週1回実施（体育、音楽、美術、技術、家庭は指定日で開催）
  - ・シラバスの作成、定期テストの問題検討、評価基準の設定、教材研究等を協力して行う
- ④ 補充学習の実施…定期テスト実施日の前週、夏季休暇に実施
  - ・生徒の実態や要望に合わせ、学年でより良い方策を協議する
- ⑤ ICT教育との連携
  - ・ICT機器を効果的に用いた教育活動について、ICT教育部会と連携して推進する

#### (3) 調査分析グループ

- ① 全国学力学習状況調査、みえスタディチェックの結果分析
  - ・生徒の強み、弱みを分析し、結果を教科部会、学年会で共有する
- ② 各種アンケートの実施、分析
  - ・生徒、保護者、教師を対象にしたアンケートの実施、分析から、本校の教育活動の改善を促す
- ③ 職員会議、校内研修会での分析結果報告
  - ・分析結果の報告によって教職員間の現状認識を統一し、今後の教育活動に活かす

### 4. 校内研修体制



## 5. 令和6年度 校内研修会 年間計画

日 時	内 容
4月 1日 (月)	第1回校内研修会 「出会いのワークショップ」
4月 3日 (水)	第2回校内研修会 校内研修体制の確認・教科部会
4月10日 (水)	第3回校内研修会 研修構想・年間計画の説明・教科部会
4月16日 (火)	全国学力・学習状況調査 (3年) 生徒質問紙
4月18日 (木)	全国学力・学習状況調査 (3年) 国語・数学
4月24日 (水)	みえスタディチェック (1・2年)
4月 教科部会	教科代表の決定・オリエンテーション・テスト作成者の決定・副教材の選定 シラバス完成・公開授業の授業者候補の決定・家庭学習の工夫 等
5月 1日 (水) ~ 5月21日 (火) ~ 5月 教科部会	校内授業公開月間① 5月1日 (水) ~5月31日 (金) 補充学習 定期テスト作成に向けた情報交換・テスト結果の共有 等
6月17日 (月) 6月19日 (水) 6月 教科部会	公開授業事前打ち合わせ (放課後) 第1回公開授業研究会 (5限目) 全国学調・みえスタの分析・評価決定についての情報共有 等
7月 職員会議 7月 教科部会	1学期ふりかえり・8月の研修会について 夏休みの宿題・補充学習について 等
8月 1日 (木) 8月22日 (木) 8月28日 (水) 8月 教科部会	校区幼小中連携研修会 教育講演会 教育研究集会 全国学調・みえスタの結果を受けての取組について 等
9月 2日 (月) 9月19日 (木) ~ 9月 教科部会	第4回校内研修会 (各分掌部会との連携研修 (予定)) 補充学習 授業進度・重点的に取り組むべきことの確認 等
10月1日 (火) ~ 10月2日 (水) 10月 教科部会	校内授業公開週間② 10月1日 (火) ~10月31日 (木) 第5回校内研修会 (各分掌部会との連携研修 (予定)) 各学年の2学期の授業についての進捗状況、情報交換 等
11月11日 (月) 11月13日 (水) 11月15日 (金) ~ 11月 教科部会	公開授業事前打ち合わせ (放課後) 第2回公開授業研究会 (5限目) 補充学習 定期テスト作成に向けた情報交換・テスト結果の共有 等
12月 職員会議 12月 教科部会	2学期ふりかえり 冬休みの宿題について 等
1月 8日 (水) 1月 教科部会	第6回校内研修会 (各分掌部会との連携研修 (予定)) 学年末テストについて 等
2月 教科部会	私立高校入試問題分析 等
3月 職員会議 3月 教科部会	1年間のふりかえり・課題と改善 次年度シラバスの作成・年間指導計画の見直し・更新 等